

清福照 (きよふくてる)



- 1.名 号 きよふくてる
 清福照 繫養場所:高鍋種雄牛センター
 2.生年月日 H28.10.26
 3.産 地 宮崎市
 4.血 統

福安照 黒原 4489	福栄 黒原 2886	安福(岐阜) 黒育 180	安谷土井 黒育85
		はるみ 黒高 201001	ちずる 黒育7592
	もりひら 黒原 1090240	安平 黒原 2208	菊照土井 黒育100
		もりあき 黒原 506632	てつや 黒高114532
みちよ 黒原 1370727 (83.2) H18.3.23	安福久 黒原 4416	安福165の9 黒原 1683	安福(宮崎) 黒原1255
		もとじろう 黒 1868119	安福(岐阜) 黒育180
	みちこ 黒原 1142544 (82.8)	平茂勝 黒原 2441	しげふじ13の7 黒高67760
		みちる 黒原 983187	紋次郎 黒高938
			もとひかり 黒原645592
			第20平茂 黒育134
		ふくみ 黒高106567	
		富金 黒原1640	
		みちるの8 黒高139871	

令和3年12月16日

ミヤチク都農工場

種雄牛 清福照 宮崎市 福安照×安福久×平茂勝

NO	枝番	自家番	名号	産次	生年月日	母の父	母の祖父	生産地	屠畜日	生後日令	屠前体重	枝肉重量	歩留	ロース芯面積	ばら厚さ	皮下脂肪	歩留基準	BMS	肉の色沢	きめ締り	脂肪色質	等級	備考
1	686	西臼杵	夏美穂	4	R1.8.8	美穂国	福之国	高千穂町	R3.12.14	859	783	512.7	65.5	88	8.2	2.8	77.4	10	5	5	5	A-5	
2	687	西臼杵	美藤	4	R1.8.10	美穂国	福之国	高千穂町	R3.12.14	857	786	515.1	65.5	69	9.2	3.0	75.4	7	5	4	5	A-4	
3	688	西臼杵	清福	1	R1.8.15	美穂国	平忠勝	高千穂町	R3.12.14	852	851	551.5	64.8	65	8.9	2.0	75.1	8	5	5	5	A-5	
4	689	西臼杵	美緒福	2	R1.8.19	義美福	美穂国	日之影町	R3.12.14	848	718	455.0	63.4	58	7.7	2.3	74.4	9	5	5	5	A-5	
5	690	北諸	萬清福	1	R1.7.24	秀正実	茂勝栄	都城市	R3.12.14	874	816	519.0	63.6	67	8.6	2.3	75.3	8	5	5	5	A-5	アローズ左
6	691	西諸	横綱	7	R1.8.7	福之国	茂福(宮崎)	高原町	R3.12.14	860	810	519.0	64.1	64	8.0	1.9	74.9	5	4	4	5	A-4	
7	693	宮崎	秋男	1	R1.8.28	美穂国	安平	宮崎市	R3.12.14	839	784	498.6	63.6	67	8.2	1.7	75.8	7	5	5	5	A-4	
8	694	宮崎	清福枝	4	R1.8.26	美穂国	北茂勝96	国富町	R3.12.14	841	714	460.8	64.5	59	7.6	2.1	74.5	6	4	4	5	A-4	
9	695	宮崎	英60	6	R1.8.14	美穂国	福桜(宮崎)	宮崎市	R3.12.14	853	869	570.9	65.7	68	9.1	1.8	75.5	4	3	3	5	A-3	
10	696	宮崎	光529	1	R1.8.8	耕富士	美穂国	宮崎市	R3.12.14	859	755	502.5	66.6	65	8.5	2.1	75.4	6	4	4	5	A-4	
平均										854	789	510.5	64.7	67.0	8.4	2.2	75.4	7.0					



No1 血統：美穂国×福之国 格付成績：A-5 BMS 10



No2 血統：美穂国×福之国 格付成績：A-4 BMS 7



No3 血統：美穂国×平忠勝 格付成績：A-5 BMS 8



No4 血統：義美福×美穂国 格付成績：A-5 BMS 9



No5 血統：秀正実×茂勝栄 格付成績：A-5 BMS 8



No6 血統：福之国×茂福（宮崎） 格付成績：A-4 BMS 5



No7 血統：美穂国×安平 格付成績：A-4 BMS 7



No8 血統：美穂国×北茂勝 96 格付成績：A-4 BMS 6



No9 血統：美穂国×福桜（宮崎） 格付成績：A-3 BMS 4



No10 血統：耕富士×美穂国 格付成績：A-4 BMS 6

枝肉講評 全国和牛登録協会 (情報解析課 西 和隆 係長)

清福照の評価できる点としては、枝肉重量、皮下脂肪、ロース芯の形状、脂肪の質等が評価され、ロース芯の大きさ、バラの厚さ、僧帽筋の厚み、肉のきめ、締りでバラツキが見られた。惜しまれる点としては、モモヌケが挙げられサシの形状は、粗ザシから小ザシまで見られた。

今後、判明するフィールド検定等を注視し検討する必要がある。